

水稲施肥指導方針

1. 土作り

米の生産調整と労働力不足から、土作りに対する熱意、意欲が減退している。

高品質米の生産は有機質の増施・土壌改良剤（たんぼの味方 Si）の投入による地力維持増進を基本とする。

(1) 深耕と有機質施用

① 深耕

プラウ等による耕起が減少して大部分がロータリー耕により行われている。また、作業スピードを優先した耕起方法が行われるようになった結果、作土の深さは浅くなってきており、10cm以下の浅耕田も存在している。

耕土の深さは18～20cmを標準とし、合わせて土壌改良資材の投入、有機質の増施をはかり、根部の発達を促す。

② 有機質施用

有機物には、一般に土壌中の微生物による分解を受け易い成分と受けにくい成分が混在します。分解を受けにくい成分は、比較的ゆっくりと分解されるために土壌条件の急激な変化をもたらすことが少ないですが、分解を受け易い成分は急激に分解されるため注意する。

有機質資材の施用基準と留意事項

有機質資材	毎年施用量(10a当たり)	施用方法、肥培管理方法
稲わら	全量を施用する場合 600～800kg	施用開始後1～2年は施肥窒素量を1kg程度増施する。その後、元の施肥量に戻して5～6年経過してから基肥は稲わら含有窒素量（10a当たりN2～3kgに相当）を減肥する。穂肥窒素は慣行量。
	地力を増進するために 半量を施用する場合 300～400kg	施用開始後8～10年程度は施肥量を加減しなくてよい。10年以上運用する場合は10a当たりN1kg程度の減肥が可能。
稲わら堆肥	地力を増強する場合 1t程度	年間の稲わら生産量がほぼ堆肥1tを生産する量に相当するのでこれが限度である。連用年次の経過にともない窒素放出量が増加するので、稲わら施用と同様に10a当たりN2～3kg相当を減肥する。
家畜ふん堆肥等	豚ふんオガクズ堆肥 1t以内	腐熟具合にもよるが、即効性の窒素成分が多いので、長期連用では10a当たりN5kg程度減肥する。
	牛ふんオガクズ堆肥 2t以内	基肥の減肥量の目安は、1年目が堆肥中の全窒素量の約20%、連用3年目約40%、連用5年目以降は50～60%である。追肥は生育状況を考慮して施用する。
	発酵鶏ふん	発酵鶏ふん含有窒素の肥効率は60%前後として基肥量を決定する。地力増進効果は小さいが連用では施用量を減らす。

稲わら

稲わらを施用する場合にはメタンガス削減の為に秋起こしを基本（雑草イネ発生田を除く）とする。また分解促進のため石灰窒素を10a当り10kg添加する。全量施用する場合は、中干しなど根腐れ防止に気をつけるとともに、長年連用するとチッソの放出量が増えるので、稲の生育を見て基肥を減らす。

堆肥

含有成分は畜種により異なる。施用量を定め、秋施用する。
連用施用するとチッソの放出量が増えるので、基肥を減らす。

(2) 土壌改良資材の施用

① たんぼの味方 Si の秋又は春先の施用

《たんぼの味方 Si は、良食味米の安定生産をねらって、J A 上伊那の水田土壌の実施に合わせて開発した土づくり肥料です》

けい酸は健康な稲作りに大きな役割をもっており、土壌中のりん酸はだんだん作物に吸収されにくい形態に変わってくるので、この補給として秋から春先にかけて基準量を積極的に施用する。又、この肥料は、生産力を持続させるために、りん酸、石灰、けい酸、苦土をバランスよく含んだ肥料で、配合されている原料は、いずれも粒状であり、機械散布にも適している。

10a 当たり 60kg (3 袋) を基準とし、従来の体系より低コスト・省力的な土づくり肥料です。

② けい酸資材の効果、特徴

水稻は植物の中ではけい酸を多量に吸収する性質があり、健全な水稻の止葉では乾物重の約 15% がけい酸である。けい酸を十分に吸収した水稻は、細胞壁の硬化による病害虫耐性の向上、耐倒状性の向上、葉の直立による光合成能力の向上、蒸散の抑制による水ストレスの減少、根の活力の向上による養分吸収力の向上等が見られる。

けい酸加里の施用効果は、けい酸成分の効果のほかにク溶性加里成分の効果もあるため、根の障害が顕著になる中盤以降の対策に追肥として用いた場合に効果が最も大きい。施用量は 20 ~ 40kg/10a を目安とし、出穂 40 ~ 45 日前 (6 月中旬 ~ 7 月極上旬) に施用する。

(3) 基盤整備田の対策

基盤整備田の対策

- ① 基盤整備田ではせき薄な深土が露出する切り土部では、有機物やリン酸・ケイ酸を追加投与して肥沃土を高めるとともに必要に応じて基肥、追肥を増肥する。
- ② 1 ~ 2 年は生わらを施用しない。その後も徐々に増やす。
- ③ 代掻きは軽く行う。活着後 20 日すぎから 2 週間程度排水する。中干しも十分に行う。
- ④ 3 年目まで、たんぼの味方 Si を 60 ~ 120kg 施用する。

(4) 塩水選

充実度の高い種子を選別して、発芽の揃いを良くするために行う。

塩水選を行う際の比重と塩水の作り方は下の表の通り。

うるち種	比重 1.13	水 18 リットルに対して塩 4.5kg
もち種	比重 1.08	水 18 リットルに対して塩 2.3kg

塩水選の終わった籾は直ちに水でよく洗い、天日でしっかりと干す。(水分 15% くらいまで) 続けて温湯消毒を行う場合は、塩水選後水洗いし 1 時間以内に温湯消毒を行う。

上伊那 本田施肥基準

地区別地域表

地帯区分	辰野	箕輪	南箕輪	西箕輪	伊那	手良美篤	富県	東春近	西春近	東部
天竜沿岸地帯 三峰川沿岸地帯 平坦地帯	羽北朝辰 (甲北、北沢、 平出、上平出、 辰野、 神岡、宮木、新町)	沢島 松木 島下 長岡 三日 福与	久保 塩ノ井 北殿 南殿 田畑 神子		下新田 上新田 狐島・西町 日影・境 中央区 上牧・野底 福島	芦沢・南割 上大島 上原・中 下上川手 下川手 青島	桜井 貝沼下段	車屋 中組 渡場 下殿 田島 榛原下段	島区 沢渡下段 表木河原 下牧下段 赤木下段 諏訪形下段	河相 生多町
竜東・竜西 洪積台地	朝日 (万五郎、下田、 山原、樋口)	岡南 小河内 北小河内 三日町 (上棚) 福与 (卯ノ木以外)	大原	吹梨 上中	荒井・小沢 西町・日影 境中央区 上牧・野底 福島	笠原 末広 (各集落の上段) 手良全域	桜井 貝沼上段 北福地 南福地 新山の一部	車屋共栄 木裏原 原新田 榛原中段 東原 駒ヶ原	下牧上段 赤木上段 諏訪形上段 表木中段 沢渡上段 小出地区	高長 藤沢 美和 里伊
西天竜地帯	羽北辰野 (新町、神戸)	沢島 上出 大松木	久保 塩ノ井 大泉・北殿 南殿・田畑 神子柴 沢尻・南原 大芝・北原	大泉新田 大菅 (各集落西天竜地帯)	御山 園寺					
西部地帯	羽北 (三ツ谷、新田)	古田 八乙女 上古田 中原 中曾根 富田								
中山間地帯 (800m以上)	辰野 (神戸、宮木、 新町以外) 小野 川島 (川島以下) 朝日 (沢底下)			与地 羽広	横山 平内 ノ萱 大坊	蟹沢 野口中組 東松	新山			長藤 山三 上中 尾木
高冷地帯 (850m以上)	小野 (山口、藤沢) 川島 (原上) 朝日 (沢底上、上野、 薄ノ田)									

地帯区分	赤穂	東伊那	中沢	飯島	七久保	片桐	南向	宮田	
砂壌土田 肥沃土田	南北下平 市場割 上赤須の上 穂沢川沿 鼠川沿	伊那耕地 栗林 大久保の 天竜河原 箱置 門前の岡田		本六河原 本四河原 日曾利河原		小竹の 上田 中島 中田島 南田島等 の天竜川沿岸	飯北 葛柏 渡場 の天竜沿岸	沼林 北原 の場	下河原 河原島
砂普通土田	大田原 田沢沿 上穂沢川 上流沿 七面川沿	殿村 上山	吉管 瀨沼 割の天 竜河沿 下間川沿 新宮川沿	北河原 中平 小河沿岸	前沢川 日向沢川 矢の沢川 の沿岸	前沢川沿い (上前沢、中通り)	上記地区 の瘦地	大田切 南林 小田切河原	
洪積台地 肥沃田	上赤須 市場割 小福町 下の坊 大北の原	伊那栗林 大久保 岡田	吉管 瀨沼 割の天 竜河沿 下間川沿 新宮川沿	本郷下段 飯島下在 南田切 南割追引	新屋敷 南北街道 柏木の 旧県道 下段田 荒新田地帯	横小前 竹のヶ 牧上及 前沢 中通り の中段	飯大 葛北 上段一 般田 柳沢	北田圃	
洪積台地 普通田	南割 中北割一 区北割二 区		水見山 門割の 中前下段 中曾根の 下段本 曾倉原 の中間地帯	本郷上段 飯島上在 春日平 日曾利	旧県道 上通 り新屋 敷上 北村 木	上記地区 の瘦地	上記以外 の水田	北割 南新 駒ヶ原	
冷水灌漑地	中山東 松木 塩光 切大 徳	火伊 栗林 冷水地帯	水見山 上割の 上部南 北河 中曾倉 南入 その他 冷水地帯	春日平 高尾 岩間 上の原 の上段	高遠原 上通り 北村の上 段山ろく 地帯		美南 桑陽 原	上の宮	

水稻本田施肥基準

コシヒカリ

1. 上伊那米オンリーワンSiは肥効が長続きし、生育期間中追肥の必要がありません。
2. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
3. コシヒカリの穂肥は出穂 18 日前に施す。2 回に分けて施肥する場合は、第 1 回目に 10kg、5 日後に更に 10kg とする。
4. りん酸の不足する水田は、BM 苦土重焼燐を基肥として、10kg ～ 20kg 使用する。
5. 倒状が心配される圃場で、けい酸加里を施用する場合は、出穂 40 ～ 45 日前 (6 月中旬～7 月極上旬) に 20kg 施用する。

①天竜・三峰川沿岸地帯及び平坦地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
				N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60		1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	45	45	5.4	4.5	4.5	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg 秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)	15 (20)	3.0 (4.0)	0.6 (0.8)	0.6 (0.8)	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	50	50	7.5	5.0	4.0	

②竜東・竜西洪積台地並び西天竜地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
				N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60		1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	50	50	6.0	5.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg 秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)	15 (20)	3.0 (4.0)	0.6 (0.8)	0.6 (0.8)	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	50	50	7.5	5.0	4.0	

③側条施肥……天竜・三峰川沿岸地帯及び平坦地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
				N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60		1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si 側条専用(有機入りペースト1号)	35 (35)	35 (35)	4.2 (4.2)	3.5 (4.2)	3.5 (4.2)	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg 秋施用し、土作りをする。
	(コープペースト222P)	(35)	(35)	(4.2)	(4.2)	(4.2)	
	上伊那穂肥 1 号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)	15 (20)	3.0 (4.0)	0.6 (0.8)	0.6 (0.8)	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	45	45	6.8	4.5	3.6	

④側条施肥……竜東・竜西洪積台地並び西天竜地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
				N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60		1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si 側条専用(有機入りペースト1号)	40 (40)	40 (40)	4.8 (4.8)	4.0 (4.8)	4.0 (4.8)	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg 秋施用し、土作りをする。
	(コープペースト222P)	(40)	(40)	(4.8)	(4.8)	(4.8)	
	上伊那穂肥 1 号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)	15 (20)	3.0 (4.0)	0.6 (0.8)	0.6 (0.8)	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	45	45	6.8	4.5	3.6	

⑤砂壤土肥沃田・洪積台地肥沃田（南部）

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5	…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	40	40			4.8	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。	
	上伊那穂肥1号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)		15 (20)		3.0 (4.0)		0.6 (0.8)
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	45	45			6.8		4.5

⑥砂壤土普通田・洪積台普通田（南部）

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5	…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	50	50			6.0	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。	
	上伊那穂肥1号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)		15 (20)		3.0 (4.0)		0.6 (0.8)
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	55	55			8.3		5.5

⑦側条施肥……砂壤土肥沃田・洪積台肥沃田（南部）

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5	…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si 側条専用(有機入りペースト1号)	30 (30)	30 (30)			3.6 (3.6)	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。	
	(コープペースト222P)	(30)	(30)			(3.6) (3.6)		
	上伊那穂肥1号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)		15 (20)		3.0 (4.0)		0.6 (0.8)
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	40	40			6.0	4.0	3.2

⑧側条施肥……砂壤土普通田・洪積台普通田（南部）

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5	…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si 側条専用(有機入りペースト1号)	40 (40)	40 (40)			4.8 (4.8)	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。	
	(コープペースト222P)	(40)	(40)			(4.8) (4.8)		
	上伊那穂肥1号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)		15 (20)		3.0 (4.0)		0.6 (0.8)
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	45	45			6.8	4.5	3.6

あきたこまち

1. 上伊那米オンリーワンSiは肥効が長続きし、生育期間中追肥の必要がありません。
2. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
3. あきたこまち、穂肥は出穂 25 日前に施す。第1回目は 15kg、5 日後にさらに 15kg とする。
4. 倒状が心配される圃場で、けい酸加里を施用する場合は、出穂 40 ～ 45 日前(6月中旬～7月極上旬)に 20kg 施用する。
5. 磷酸の不足する水田は、BM苦土重焼燐を基肥として、10kg ～ 20kg 使用する。
6. 堆肥の施用ができる場合は、1,000kg ～ 1,200kg 秋施用し、土作りをする。

①竜東・竜西上段・西天竜・西部並び中山間地帯(標高800m以上の地帯)(北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	70	70		10.5	7.0	5.6	

②高冷地帯 (標高850m以上の地帯) (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
たんぼの味方 Si (BM苦土重焼燐)	60	60			1.5		…秋又は春先施用する	
	(20)	(20)			(7.0)			
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	60	60		7.2	6.0	6.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	

③側条施肥…竜東・竜西上段・西天竜・西部並び中山間地帯(標高800m以上の地帯)(北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	40	40		4.8	4.0	4.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg秋施用し、土作りをする。
	側条専用(有機入りペースト1号)	(40)	(40)		(4.8)	(4.8)	(4.8)	
	(コープペースト222P)	(40)	(40)		(4.8)	(4.8)	(4.8)	
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	60	60		9.0	6.0	4.8	

④側条施肥…高冷地帯（標高850m以上の地帯）（北部・中部）

（単位 10a : kg）

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	B M 苦土重焼燐	20	20			7.0		堆肥の施用ができる場合は、1,200kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那米1号 Si	55	55		6.6	5.5	5.5	
	側条専用(有機入りペースト1号)	(55)	(55)		(6.6)	(6.6)	(6.6)	
	(コープペースト222P)	(55)	(55)		(6.6)	(6.6)	(6.6)	
	上伊那穂肥1号	25		25	5.0	1.0	1.0	

⑤洪積台地普通田（南部）

（単位 10a : kg）

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	60	60		7.2	6.0	6.0	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥1号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	80	80		12.0	8.0	6.4	

⑥側条施肥……洪積台地普通田（南部）

（単位 10a : kg）

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。
	側条専用(有機入りペースト1号)	(50)	(50)		(6.0)	(6.0)	(6.0)	
	(コープペースト222P)	(50)	(50)		(6.0)	(6.0)	(6.0)	
	上伊那穂肥1号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	70	70		10.5	7.0	5.6	

もちひかり

1. 上伊那米オンリーワン Si は肥効が長続きし、生育期間中追肥の必要がありません。
2. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
3. もちひかり、穂肥は出穂 25 日前に施す。第 1 回目は 15kg、5 日後に更に 15kg とする。
4. 燐酸の不足する水田は、BM 苦土重焼燐を基肥として、10～20kg 使用する。
5. 堆肥の施用ができる場合は、1,000kg～1,200kg 秋施用し、土作りをする。

①標高800m未満の地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	70	70		10.5	7.0	5.6	

②標高800m未満の地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
	たんぼの味方 Si (BM 苦土重焼燐)	60 (20)	60 (20)			1.5 (7.0)		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	

※標高 850m 以上の地帯では基肥の施肥量を 20% を目安に増加する。

③側条施肥・・・・・・標高800m未満の地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米 1 号 Si 側条専用(有機入りペースト1号)	45 (45)	45 (45)		5.4 (5.4)	4.5 (5.4)	4.5 (5.4)	堆肥の施用が できる場合は、 1,200kg秋施用 し、土作りをす る。
	(コープペースト222P)	(45)	(45)		(5.4)	(5.4)	(5.4)	
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	65	65		9.8	6.5	5.2	

④側条施肥・・・・・・標高800m以上の地帯 (北部・中部) (単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	BM 苦土重焼燐	20	20			7.0		堆肥の施用が できる場合は、 1,200kg秋施用 し、土作りをす る。
	上伊那米 1 号 Si	55	55		6.6	5.5	5.5	
	側条専用(有機入りペースト1号)	(55)	(55)		(6.6)	(6.6)	(6.6)	
	(コープペースト222P)	(55)	(55)		(6.6)	(6.6)	(6.6)	
	上伊那穂肥 1 号	30		30	6.0	1.2	1.2	

⑤ 洪積台地普通田（南部）

（単位 10a : kg）

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	60	60		7.2	6.0	6.0	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥1号	30		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	80	80		12.0	8.0	6.4	

⑥ 側条施肥・・・洪積台地普通田（南部）

（単位 10a : kg）

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg秋施用し、土作りをする。
	側条専用(有機入りペースト1号)	(50)	(50)		(6.0)	(6.0)	(6.0)	
	(コープペースト222P)	(50)	(50)		(6.0)	(6.0)	(6.0)	
上伊那穂肥1号	30		30	6.0	1.2	1.2		
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	70	70		10.5	7.0	5.6	

美山錦・ひとごち

1. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
2. 美山錦の穂肥は出穂 18～20 日前に施す。第1回目は 15kg、5 日後に更に 10kg とする。
3. ひとごちの穂肥は出穂 18～20 日前に施す。第1回目は 15kg、5 日後に更に 15kg とする。
4. 倒状が心配される圃場で、けい酸加里を施用する場合は、出穂 40～45 日前（6月中旬～7月極上旬）に 20kg 施用する。
5. 燐酸の不足する水田は、BM 苦土重焼燐を基肥として、10～20kg 使用する。

① 酒米栽培地全域

（単位 10a : kg）

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥1号	25		25	5.0	1.0	1.0	
(ひとごちの場合)	(30)		(30)	(6.0)	(1.2)	(1.2)		
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	65	65		9.8	6.5	5.6	

② 側条施肥・・・酒米栽培地全域

（単位 10a : kg）

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考	
				N	P	K		
共通 たんぼの味方 Si	60	100			1.5		…秋又は春先施用する	
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	40	40		4.8	4.0	4.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg秋施用し、土作りをする。
	側条専用(有機入りペースト1号)	(40)	(40)		(4.8)	(4.8)	(4.8)	
	(コープペースト222P)	(40)	(40)		(4.8)	(4.8)	(4.8)	
	上伊那穂肥1号	25		25	5.0	1.0	1.0	
(ひとごちの場合)	(30)		(30)	(6.0)	(1.2)	(1.2)		
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	60	60		9.0	6.0	4.8	

直 播 栽 培

1. 上伊那米オンリーワン Si は肥効果が長続きし、生育期間中追肥の必要がありません。
2. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
3. 穂肥は出穂 18 日前に施す。2 回に分けて施用する場合は第 1 回目は 10kg、5 日後に更に 10kg とする。
4. 倒状が心配される圃場で、けい酸加里を施用する場合は、出穂 40 ～ 45 日前（6 月中旬～7 月極上旬）に 20kg 施用する。
5. 燐酸の不足する水田は、BM 苦土重焼燐を基肥として、10 ～ 20kg 使用する。
6. 堆肥の施用ができる場合は、1,000kg ～ 1,200kg 秋施用し、土作りをする。

①コシヒカリ 全層施肥 (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基 肥	穂 肥	成 分 量			備 考
				N	P	K	
共 通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基 肥 + 追 肥	上伊那米 1 号 Si	35	35		4.2	3.5	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg 秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号	15		15	3.0		
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	45	45		6.8	4.5	3.6

- 注** 1. 基肥は、移植コシヒカリの約 80% を目安とする。
2. 穂肥は、地帯、生育状況を考慮して施用する。

②コシヒカリ 側条施肥 (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基 肥	穂 肥	成 分 量			備 考
				N	P	K	
共 通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基 肥 + 追 肥	上伊那米 1 号 Si	30	30		3.6	3.0	堆肥の施用ができる場合は、1,200kg 秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号	15		15	3.0	0.6	
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	40	40		6.0	4.0	3.2

- 注** 1. 基肥は、移植コシヒカリの約 80% を目安とする。
2. 穂肥は、地帯、生育状況を考慮して施用する。

③全層施肥・・・砂壤土普通田・洪積台地普通田 (コシヒカリ) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基 肥	穂 肥	成 分 量			備 考
				N	P	K	
共 通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基 肥 + 追 肥	上伊那米 1 号 Si	50	50		6.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg 秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)		15 (20)	3.0 (4.0)	0.6 (0.8)	
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	50	50		7.5	5.0	4.0

④側条施肥・・・砂壤土普通田・洪積台地普通田 (コシヒカリ) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基 肥	穂 肥	成 分 量			備 考
				N	P	K	
共 通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基 肥 + 追 肥	上伊那米 1 号 Si	35	35		4.2	3.5	堆肥の施用ができる場合は、1,000kg 秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥 1 号 (2回に分けて施用の場合)	15 (20)		15 (20)	3.0 (4.0)	0.6 (0.8)	
基肥一発	上伊那米オンリーワン Si	45	45		6.8	4.5	3.6

M O A 自然米

特別栽培コシヒカリ

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
基肥 + 追肥	バイオノ有機	80	80		4.0	2.3	1.5	春先施用する
	ロイヤルグアノ	40	40			9.2		
	米糖	90	90		15.0	3.7	1.0	
	菜種粕(粒)	60		60	3.6	1.2	0.6	

注 1. 土壌改良剤として、炭酸苦土石灰(粒)を100kg 施用し2回の秋耕を行う。

ペースト肥料(全量基肥一発型)

使用する品種は「コシヒカリ」のみとし、下記注意事項を確認し使用をする。

1. 施肥深さは5cmとする。施肥深さが浅いと肥料分が流亡したり、肥効が続かない場合がありますので、適性な深さで施用する。
2. 必ず手でほぐしてから使用する。
3. 生育状況によっては、追肥が必要となる場合があります。

コシヒカリ

①側条施肥・・・天竜・三峰川沿岸地帯及び砂壤土肥沃田・洪積台地肥沃田 (単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
基肥一発	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		
	ネオペースト S R 588	50	50		7.5	4.0	4.0	

②側条施肥・・・竜東・竜西洪積台地・西部・西天竜地帯並び砂壤土普通田・洪積台地普通田 (単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
基肥一発	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		
	ネオペースト S R 588	55	55		8.2	4.4	4.4	

特殊水田

①基盤整備田（北部・中部）

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
	B M 苦土重焼燐	30	30			10.5		…基肥として施用する
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	50	50		6.0	5.0	5.0	堆肥の施用ができる場合は、 1,200kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥1号	15		30	6.0	1.2	1.2	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	65	65		9.8	6.5	5.2	

注 1.3年目までは、たんぼの味方 Si を 60 ~ 120kg 施用する。

②基盤整備田（南部）

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
	B M 苦土重焼燐	20	20			7.0		…基肥として施用する
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	60	60		7.2	6.0	6.0	堆肥の施用ができる場合は、 1,000kg秋施用し、土作りをする。
	上伊那穂肥1号	20		20	4.0	0.8	0.8	
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	65	65		9.8	6.5	5.2	

注 1.3年目までは、たんぼの味方 Si を 60 ~ 120kg 施用する。

③冷水灌漑田

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
共通	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
	上伊那米1号 Si	60	60		7.2	6.0	6.0	堆肥の施用ができる場合は、 1,000kg秋施用し、土作りをする。
上伊那穂肥1号	30		30	6.0	1.2	1.2		
基肥一発	上伊那米オンリーワンSi	80	80		12.0	8.0	6.4	

④転作復帰田（麦・大豆・スイートコーン）

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥 + 追肥	上伊那米1号 Si	10	10		1.2	1.0	1.0	
	上伊那穂肥1号	15		15	3.0	0.6	0.6	

注 穂肥は品種、地帯、生育状況を考慮して、必要に応じて施用する。

⑤転作復帰田（野菜跡他）

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
	たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
	けい酸加里プレミア34	40	40				8.0	
追肥	上伊那穂肥1号							

注 穂肥は品種、地帯、生育状況を考慮して、必要に応じて施用する。

⑥浅耕漏水田

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
				N	P	K	
たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
基肥一発 上伊那米オンリーワン Si	65	65		9.8	6.5	5.2	

- 注 1. 基肥一発の上伊那米オンリーワン Si を施用し必要に応じ追肥を施用する。
2. 堆肥が施用できる場合は、1,000kg 秋施用し、土作りをする。

⑦秋落ち水田

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
				N	P	K	
共通 たんぼの味方 Si	60	60			1.5		…秋又は春先施用する
	アイアンサポート	20	20		5.0		…基肥で使用。鉄15%含
基肥+追肥 上伊那米1号 Si	45	45		5.4	4.5	4.5	
	上伊那穂肥1号	20	20	4.0	0.8	0.8	
基肥一発 上伊那米オンリーワン Si	65	65		9.8	6.5	5.2	

- 注 1. 基肥・穂肥の施肥量は、地帯、品種により考慮して施用する。

⑧リン酸・加里過剰水田

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥(秋)	基肥(春)	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
たんぼの味方 Si	60	60				1.5		
エルちゃん側条専用 28N	30		30		8.4	2.4	2.4	
合計					8.4	3.9	2.4	

- 注 1. 土壌診断の結果を参考に基肥の量を考慮する。(低 P K 対策肥料の使用)
2. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
3. エルちゃん側条専用 28N は側条施肥専用です。(全層施肥は行わない。)

有機肥料使用栽培基準 <参考例>

①コシヒカリ普通田(発酵鶏糞+慣行肥料) (化学肥料50%削減栽培対応) (単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥(秋)	基肥(春)	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
発酵鶏糞	100	100				5.2	3.2	稲わらを全量施用した場合は分解促進に発酵鶏糞100kgを施し秋起こしをする。
発酵鶏糞	120		120		2.3	6.2	3.8	
上伊那米1号 Si	20		20		2.4	2.0	2.0	
上伊那穂肥1号	15			15	3.0	0.6	0.6	
合計					7.7	14.0	9.6	

- 注 1. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
2. 化学肥料 50%削減栽培では、上伊那米1号 Si は 20kg、上伊那穂肥1号は 15kg を上限とする。
3. 土壌診断によりけい酸分が不足する場合は、けい酸資材を補給する。
4. 発酵鶏糞の成分量は、N2.9% P6.5% K3.5%で、肥効率 N65% P80% K90%で計算している。

②コシヒカリ普通田(有機入り肥料) (化学肥料50%削減栽培対応)

(単位 10a : kg)

肥料名	施肥量	基肥(秋)	基肥(春)	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
たんぼの味方 Si	60	60				1.5		稲わらを全量施用した場合は分解促進に石灰窒素10kgを施し秋起こしをする。
有機パワー 886	70		70		5.6	5.6	4.2	
有機パワー追肥 028	20			20	2.0	0.4	1.6	
合計					7.6	7.5	5.8	

- 注 1. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
2. 燐酸の不足する水田では、BM 苦土重焼燐を基肥として 10 ~ 20kg 施用する。
3. 化学肥料 50%削減栽培では、有機パワー 886 では 70kg、有機パワー追肥 028 では 30kg を上限とする。

その他

[わたしの肥料]

大規模経営農家(4トン以上の注文)の要望に合わせた J A オリジナル肥料です。
土壌診断結果に基づき設計し肥料登録されます。(ご相談は各営農センターへ)

田植機施肥ダイヤル目安表

【三菱】

★LE50・60シリーズ
施肥量目安表 (kg/10a)

※比重

上伊那米1号Si	1.01
上伊那米オンリーワンSi	0.93
エルちゃん側条専用28N	0.81

	枚数	目盛											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
少量ギア (黒色)	37	9	11	14	16	19	21	23	25	28	30	33	35
	42	10	12	15	17	20	22	26	28	31	33	36	38
	50	13	15	19	22	26	28	32	35	38	41	45	47
	60	14	17	21	24	29	31	36	39	43	46	50	53
標準ギア (白色)	37	24	30	36	42	48	54	60	66	72	78	84	90
	42	27	33	40	46	53	59	65	73	79	86		
	50	33	41	50	58	66	74	82					
	60	37	46	56	64	74	83						

※この目安表は肥料のかさ比重を0.9で表示しています。肥料の種類により換算してください。

【サセキ】

★RPQシリーズ (4・5条)、PRシリーズ (5・6・7条)

試しくり出しを行い施肥量を調節する。調節ハンドルを回して表示ラベルのメモリを目標の施肥量まで調節する。

※表示ラベルは肥料のかさ比重が0.9のときの10aあたりの施肥量(kg)であくまでも目安です。

【クボタ】

★AWシリーズ (4・5条)

調整できる施肥量 10~80kg/10a (標準: 20~60kg/10a 少量: 10~20kg/10a 増量 60~80kg/10a)

施肥量目安ラベルの施肥量に調整するには、施肥量目安ラベルの施肥量に合わせてくり出しテストを行った後、施肥量調節ハンドルで施肥量の調整を行う。

少量・増量施肥の場合は、切替えロッド・金具の位置を変更する。

★NWシリーズ (5・6・7条)

調整できる施肥量 10~90kg/10a 1kg単位で設定可能。標準 10~80kg/10a 増量 80~100kg/10a

メインパネルの【作業条件】から施肥設定量(10aあたり)と計量値(計量機能で測った値)を設定。増量設定の場合はオプション部品の増量ロールを使用。

【ヤンマー】

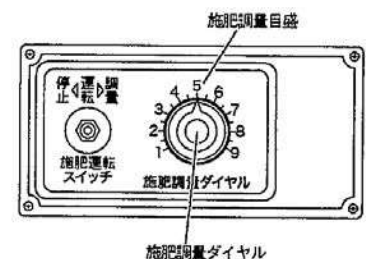
★YR-DAシリーズ (5・6・7・8条)

下記の表を参照して、施肥量が多い場合は「1」側へ、少ない場合は「9」側へ施肥調節ダイヤルで調節する。

目安表はあくまでも目安のため、試しくり出しを行い実際の施肥量を確認してから作業を行う。

施肥量目安表

目標施肥量 (kg/10a)	10	20	30	40	50	60	70	80	90
目盛 (かさ比重0.9)	1.2	2.2	3.3	4.4	5.4	6.5	7.5	8.3	9



各メーカーの施肥目安表は、あくまでも目安ですので、機械の機種等を確認の上、10aあたりの適正施肥量に調整してください。